

大学院入学のご挨拶

姚 建偉

私の名前は姚 建偉（よう けんい）と申します。中国江蘇省泰州市の出身で、2022 年 6 月に蘇州大学にて放射医学専攻の学士号を取得いたしました。同年 10 月より金沢大学に留学し、医薬保健学総合研究科診療放射線技術学専攻の小林 正和研究室に研究生として所属し、半年間の研修生活を送りました。その後、2023 年 4 月からは正式に大学院生として同研究室で、核医学関連の診療用放射性医薬品の開発研究に携わってまいりました。

学部時代には基礎実験の機会がほとんどありませんでしたが、この 2 年間で実験デザインの立案、基礎的な理論の理解、さらに各種実験手技を習得することができました。また、英語論文の執筆や学会発表を通じて、研究成果を発信する力も身につけ、大変充実した日々を過ごすことができたと感じています。

現在取り組んでいる基礎研究は、将来的に臨床応用へと発展する可能性を秘めており、基礎と臨床は切り離せないものであると強く実感しています。そのため今後は、これまでの基礎研究の経験を土台に、金沢大学附属病院核医学診療科にて臨床研究にも深く関わり、基礎と臨床をつなぐ架け橋となるような研究を進めていきたいと考えております。

博士課程の期間中は、医薬保健学域の小林研究室との連携を保ちながら、基礎と臨床を融合させた研究を展開し、将来の核医学診断・治療の発展に貢献できる成果を目指します。博士号取得後は、さらに欧米での研究経験を積み、国際的な視点から核医学の先端技術を学び、人類の健康と幸福の向上に少しでも寄与したいと願っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。